

2023年度 事業概要

I. 事業の概要

1. はじめに

2023年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染症も収束となり経済活動も活発となった。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待された。ただし、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押さえするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動に注視する必要があるとした。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

こうした中で2023年度の当工業会の事業としては、1) 国際展示会に関する事業 (**JIAM 2024 OSAKA**の取り組み)、2) 家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進(家庭用ミシン事業)、3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進を行う、4) コネクテッドインダストリーズへの対応等、業界の発展に係わる諸課題の克服に向け会員への支援に取り組み、市場活性化と更なる発展を目指し各種事業を実施した。

2. 活動概要

1) 国際展示会の開催に関する事業

当工業会が主催する**JIAM**展は、2024年の開催に向けて、見本市名及び開催テーマを以下のとおりとし、準備に向けて活動を実施した。

(詳細は、「議題⑥ **JIAM**展について」で説明)

(1) 開催概要

- ①見本市名：**JIAM 2024 OSAKA**—国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市—
- ②開催テーマ：**JIAM**からつながる... ～次世代技術と匠の技のコラボレーション**2024**
- ③会 期：2024年11月27日(水)～11月30日(土)〈4日間〉
- ④会 場：インテックス大阪 2、3、4、5号館

(2) **JIAM 2024**実行委員会及びWGの開催状況

実行委員会を4回、WGを8回、オンライン等にて開催し、**JIAM 2024**に関する検討を行った。

(3) **JIAM 2024**ウェブサイトでのPR活動

日本語ページの他、英語及び中国語ページで**JIAM 2024**の情報を発信した。

2) 家庭用ミシン事業

ユーザーニーズが「画一性から個性化へ」と移行しつつある環境に応え、ホームソーイングへの親しみの場を設け、家庭用ミシン市場の活性化に努めるとともに、健全な市場の拡大を図るため以下の事業を実施した。

(1) ソーイングの普及促進について

①第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール

「第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」を実施し、学校教育におけるソーイングの普及拡大に努めた。応募校数及び応募作品点数の増加を図るため、経費に配慮しつつ、送付先と応募状況の関係を分析して、6月に学校へ応募要領(A3版両面)を郵送するとともに、Eメールでの配信(小学校8,747校、中学校4,602校、高等学校2,485校)を行い、学校への連絡を強化させた。なお、今回も全作品を対象とした「SDGs特別賞」を設け、SDGsの取り組みが小物を含めた衣生活にいかされた作品を選出することとした。

作品の応募状況

○応募作品点数 合計 2,735点 (前回比 81.0%)

○応募校数 合計 472校 (前回比 84.6%)

※部門別の詳細等は、「議題(5)第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール事業」で説明。

審査経過

○第一次審査

日 時：2023年12月7日(木)～8日(金)

場 所：ワールドインポートマート

審査委員：家庭用ミシン会員関係者 (3社・3名)

○第二次審査

日 時：2023年12月23日 (土)

場 所：機械振興会館

審査委員：外部学識経験者等 (7名)

②委員会活動

市場対策第一委員会及び家庭用ミシン普及促進WGにおいて以下の項目について検討した。

a) 今後のホームソーイング小・中・高校生作品コンクールの在り方について

技術要素ばかりでなく、デザイン性、実用性など審査時の評価方法を見直し、巢ごもり需要の継続のための方法を検討し実施したが、さらに継続することとなった。

b) 情報マガジン「ソーイング大好き」について

ホームページ等において会員募集活動を行い、会報を発行した。

c) 「ミシン手作りダイアリー」の活用

ホームページに掲載しているレシピを集めた「ミシン手作りダイアリー」の積極的な活用について検討した。

③2023日本ホビーショーへの出展

会 期：2023年4月27日(木)～29日(土・祝) 10:00～17:00

会 場：東京国際展示場 (東京ビッグサイト)

出展内容：

a) 出展会場：東4ホール(小間No. D-05)

b) 出展規模：4小間

c) 内 容：

- ・第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール経済産業大臣賞受賞作品 (5点) を展示した。
- ・家庭用ミシン会員4社の参加によるナイロン生地を使用したキャラメルポーチの製作体験を実施した。ソーイング体験参加者は3日間で110名であった。
- ・2023年3月に開催した第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール表彰式の模様を映像で紹介した。
- ・第43回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール優秀作品(35点)を画像で紹介した。

④2023年度経済産業省子どもデーへの参加

日 時：2023年8月2日(水)～3日(木) 10:00～16:00

場 所：a) 経済産業省 本館17階会議室

b) 経済産業省ホームページ オンライン参加

内 容：a) ミシンについての簡単な説明と第44回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールのPRを行った後、家庭用ミシン会員4社の協力によりソーイング体験を行った。ミシンは各社1台(計4台)を使用。1時間1コマで1日5回実

施し、各日20名ずつ2日間で40名の小中学生を中心とした参加があった。

b) パワーポイントで作成した教材「学んで作ってたのしいミシン」の動画版をオンラインコンテンツとして提供した。

⑤ 全国家庭科教育協会（ZKK）主催の夏期研修会への参加

日時 2023年8月10日（木） 10:00～16:00

場所 新宿区立新宿西戸山中学校（東京都新宿区百人町）

内容 ① 講義 「ミシンの基礎－失敗しないコツ－」

（株）ジャノメ 田中城治氏が講師となり、パワーポイントのデータを使用してミシンの基礎を説明した。

② 家庭用ミシンメーカー4社のミシン（一部学校のミシン）を使用して、サコッシュとエコバッグの製作体験を行った。

(2) 市場の活性化について

① 流通の適性化を図るため、毎年4月1日現在及び10月1日現在の現行販売機種、新機種、廃機種を把握し、一覧表にまとめ流通団体等に通知することとしており、2023年4月1日現在及び10月1日現在の一覧表を作成し通知した。

② 市場ニーズに的確に対処するため、2023年1月～3月分、4月～6月分、7月～9月分及び10月～12月分の国内販売機種について価格帯別の流通調査を実施し、調査結果を関係会員へ配布した。

③ ホームソーイングの普及促進、ミシンの利用拡大を図りミシンを身近なものにするために、ミシン販売業界との連携を強化し、「技能士シール」（ミシン販売店に技能士（国家検定資格）がいることをアピール）及び展示台等を装飾するための販促物「テーブルスカート」を会員向け機関誌「ニューズレター」や、JASMAホームページでPRした。

④ 消費者及び地方公共団体、消費生活センター等からの問い合わせ、ミシンに関する各種の相談、照会に対処した。

3) 工業会活動の活性化及び効率化の推進

工業会と会員の発展のためその活動を広く周知させるとともに、工業会活動のさらなる活性化を図り且つその効率化を推進するため、以下の事業を実施した。

(1) 広報活動について

① 会員向け広報活動

a) JASMA統計、ニューズレターを毎月1回発行

政府が公表する各種統計を整備して、JASMA統計（ミシンの生産・輸出入）として、2023年分を毎月発行し会員に情報提供した。また、2023年4月から2024年3月までニューズレターを毎月1回発行し、工業会の事業活動をはじめ関係諸機関の動向について会員に提供した。

b) 関係機関等の調査結果の提供

関係諸機関並びに公共団体等が公表する調査結果等を収集し、各種の資料等について会員に情報提供した。

② 外部機関向け広報活動

a) 工業会活動等について外部機関への広報活動を積極的に行うため、JASMA会報(2023年4月号、8月号、11月号、2024年2月号)を発行した。

b) インターネットホームページの更新・充実

インターネットホームページの更新・充実に努め、工業会の事業活動等について最新情報を掲載した。

(2) 内外関係機関等との交流及び協力に関する事業

① 関係機関・団体との連絡協調について

a) ロボット革命イニシアティブ協議会との協調

同協議会へ会員として参加し、交流・協力を深めるとともに、情報等を入手し会員へ提供した。

b) 関係官公庁との交流、連携、協調

経済産業省及び関係官公庁の依頼による調査を実施し、資料及び情報の提供、意見の具申等に対応した。また、繊維関係団体との密接な関係を図り、情報共有、資料の交換等連携を図るとともに、当工業会が会員として加入している公益社団法人日本訪問販売協会、一般社団法人日本機械工業連合会、中央職業能力開発協会等において、役員、委員として縫製機械業界の意見反映等に努め協力関係の継続を図った。

② 軽機械センターの運営に関する協力について

海外との交流、市場動向フォロー等の事業を進めるため、その一環として軽機械センター（ベルギー・ブリュッセルセンター及び中国・北京センター）の運営に協力するとともに、市場動向等に関する情報を収集し、会員へ提供した。

③ 海外関係機関との交流及び協力について

海外関係団体との意見・情報交換を行うとともに、各国間における協調・協力を推進した。

(3) 工業会活動の効率化の推進（工業会の収支バランスの回復に向けた対応）

① 工業会活動の改革・見直しについて

工業会事務局業務の改善、効率化に向け、インターネットツールの調達、業務マニュアルの整備、電子化に取り組んだ。また、会員へはEメール連絡を徹底し、効率的な事務局運営に努めた。

② 会員の負担軽減の検討について

新型コロナウイルス感染症への対応として委員会活動をオンライン併用会議で実施するため、会員の利用が多い「Microsoft Teams」を使用することとし、当工業会及び外部会議室で利用可能とする設備を追加導入し、オンライン併用会議での開催を推進した。

(4) 工業会活動の確実な実施

① 生産性向上要件証明書の発行について

中小企業等経営強化法の固定資産税の軽減措置として、縫製機械等を対象とした証明書発行団体の業務を実施した。

(5) 正会員、賛助会員の充実

内外展示会のJASMAブースでのPR活動及び中小企業等経営強化法に関する証明書の申請受付等に際して、工業会活動内容やメリットを広報し会員獲得に向けた取り組みを行った。

(6) 「縫製機械整備作業」技能検定に向けた取り組み

受検者増を図るため、ホームページからの情報発信による広報活動を行った。

(7) コネクテッドインダストリーズへの対応

政府が進めるコネクテッドインダストリーズに対応して、当業界並びに川上から川下業界を含めた生産工程のデータ連携に取り組み、縫製機械製造業の競争力を高めることを目的にコネクテッド検討会（事前検討会を含む。）及び若手社員向け研修（イノベーション人材育成研修）を開催した。

また、縫製工程の自動化に向けたCADデータ活用に関して、令和5年度イノベーション戦略策定事業（一般財団法人機械システム振興協会からの委託事業）を受託した。業界関係者及び有識者で構成する戦略策定委員会及び同ワーキンググループにおいて事業を実施し、その成果を報告書として取りまとめた。

1) 戦略策定委員会

① 第1回縫製工程の自動化に向けたCADデータ活用に関する戦略策定委員会（以下「戦略策定委員会」という。）

日時：2023年5月19日（金）14：00～16：30

場所：航空会館ビジネスフォーラム（オンライン併用）

次第：a) 一般財団法人機械システム振興協会 挨拶及び注意事項

b) 委員長挨拶及び委員紹介

c) 事業を進めるにあたって

d) 事業概要紹介

e) 事業計画及びワーキンググループ設置について 他

概要：本事業の概要、事業計画等について説明し、それらに基づく今後の進め方について意見交換した。また、ワーキンググループ1（共通フォーマットワーキンググループ）（以下「WG1」という。）及びワーキンググループ2（実証実験ワーキンググループ）（以下「WG2」という。）を設置し、活動していくことが了承された。

②第2回戦略策定委員会

日時：2023年7月12日（水）14：00～16：30

場所：航空会館ビジネスフォーラム（オンライン併用）

次第：a) ミシン各社提示の共通フォーマットに必要な項目について

b) 実証実験の進め方について

c) 素材選定について 他

概要：WG1及びWG2の活動状況について報告した。

③第3回戦略策定委員会

日時：2023年9月15日（金）14：00～16：30

場所：航空会館ビジネスフォーラム（オンライン併用）

次第：a) 縫製工場の講演

b) 縫製現場のオペレータ意見

c) WG1活動報告

d) WG2活動報告 他

概要：縫製工場の立場から、縫製現場の現状と課題について講演いただいた。また、縫製現場のオペレータへのアンケートの回答結果について報告した。更に、WG1及びWG2の活動状況について報告した。

④第4回戦略策定委員会

日時：2023年11月24日（金）14：00～16：00

場所：航空会館ビジネスフォーラム（オンライン併用）

次第：a) WG1活動報告

b) WG2活動報告

c) 残された課題と方向性について

d) 中間成果概要表について 他

概要：共通フォーマットに必要な項目を取りまとめた共通フォーマット初版について説明した。また、共通フォーマットを活用した試作機による縫製の実証実験結果及び残された課題と今後の方向性について報告、説明した。更に、ここまでの成果を取りまとめた中間成果概要表について説明した。

⑤第5回戦略策定委員会

日時：2024年2月5日（月）14：00～16：30

場所：航空会館ビジネスフォーラム（オンライン併用）

次第：a)縫製工程の自動化に向けたCADデータ活用に関する戦略策定報告書案
について 他

概要：本事業の報告書案について検討した。

2) 若手社員向け研修（イノベーション人材育成研修）

①第1日目

日時：2023年8月23日（水）13:00～15:00

場所：オンライン

次第：a)オリエンテーション

b)自己紹介

c)講演「ロボット技術の動向を紹介しつつ、具体的なロボットの機能とその構成要素について説明し、実際のロボット事例を紹介した。」

講師 水澤 純一氏

元青山学院大学工学部教授 現 有限会社テレビビジネス 取締役

d)検討課題説明

ファシリテーター 樋口 敬恭氏

e)グループ毎の事前相談

②第2日目

日時：2023年8月25日（金）13:00～16:30

場所：航空会館ビジネスフォーラム

次第：a)オリエンテーション

b)グループ討議

c)発表準備

d)発表

e)講評

f)終わりにあたって

4) 使用技術の普及及び啓発に関する事業

(1) 知的財産権保護対策について

海外製品による知的財産権侵害品の流通実態の把握に努め、適切な対応を行い市場の健全な発展を図るため、以下の事業を行った。

①世界市場を対象とした「定期的模倣実態調査」及びCISMA2023を対象とした「CISMA2023模倣実態調査」を実施した。

「調査結果」※()内は前年度の件数

a) 定期的模倣実態調査

・侵害件数 7件 (17件)

・権利別侵害件数

意匠権 0件 (0件)、特許権 0件 (3件)、商標権 6件 (13件)、著作権 1件 (0件)、その他0件 (1件)

・発見国・地域別件数

中国 3件、イラン・ウズベキスタン・インドネシア他東南アジア 各1件

(中国 13件、南アフリカ・モロッコ・トルコ・ベトナム 各1件)

b) CISMA2023模倣実態調査

・侵害件数 14件 (17件)

・権利別侵害件数

意匠権 0件 (0件)、特許権 0件 (0件)、商標権 7件 (8件)、著作権 0件 (0件)、その他 7件 (2件)

③政府関係機関の日本貿易振興機構（北京センター、上海センター、ソウルセンター）等の情報を入手し、随時、会員企業へ提供した。

④「国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）中国プロジェクト」へ参加し、関係団体等と情報を交換した。

(2) 我が国機械工業における最先端技術及び技術革新に関する現状を把握し、縫製機械産業の技術開発の参考とするため、技術第一委員会、技術第二委員会等において実施を計画していた外部の技術視察は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は開催を見合わせた。

(3) 電気用品安全法の技術基準体系の見直し等の情報収集のため、他団体の主催する委員会等に参加した。

(4) 内外の環境規制に関する情報を収集した。

(5) 国立科学博物館が実施した「ミシンに関する技術の系統化調査」報告書のフォローアップを実施した。

5) 生産、流通等に係る調査及び企画の立案・推進に関する事業

(1) 調査事業について

①海外調査

日本貿易振興機構及び軽機械センター（ブリュッセル、北京）等との連携を図り、主要国の需要動向、経済動向等について情報の収集に努め、会員へ提供した。

②国内調査

国が公表する政策、生産、国内流通、輸出入統計並びに諸団体が実施する諸統計資料等を収集整理分析し、「JASMA統計」「ニューズレター」等により会員等へ情報提供した。また、関係当局からの諮問あるいは関連団体、他業界からの照会等に対処した。

(2) 統計事業について

ミシンに関する経済産業省生産動態統計及び財務省貿易統計を毎月入手し、整理・分析を行い、定期的に会員へ提供するとともに、一般に対してホームページで公表した。

7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(1) 労働力の確保に関する事業について

業界全般の労務状況、働き方改革等について労務委員会を開催し、意見交換を行った。

(2) PL対策について

当工業会ではPL事故防止対策等の一助として、あいおい損害保険会社と団体PL保険契約を締結しており、現在契約件数1件である。

(注) 団体保険のため、期間は12月10日から1年間である。ただし、加入はいつでも可能。